

未来に向けて、福島で産み育てる — 福島の産婦人科医療の現状と課題

第66回日本産婦人科医学会記者懇談会
日本記者クラブ 平成25年6月12日



福島県産婦人科医学会会長
日本産婦人科医学会理事
幡 研一

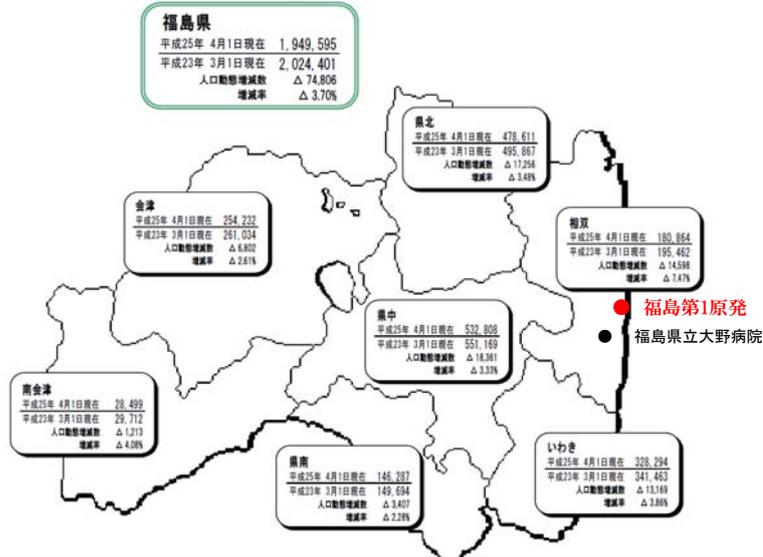
1

- 1 福島県の人口動態 (H23年3月1日～H25年3月31日)
- 2 福島県の周産期医療状況
- 3 福島県の地区別出生数の推移 (住民票ベース)
- 4 福島県内医療機関での分娩数の推移
- 5 里帰り出産数の推移
- 6 福島県の周産期医療施設状況
- 7 福島県内の産婦人科医師の現状
- 8 今後の課題

2

【図】平成23年3月1日から平成25年3月31日までの人口動態（住民票による）

本推計人口における転入、転出等については、住民基本台帳法に基づき各市町村に届出等があった情報を集計したものです。したがって、東日本大震災や原子力災害の影響を受けて被災地等から避難した方に係る移動については、**各市町村に届出があった方のみ、転入、転出等として集計しております。**平成23年3月1日現在及び平成25年4月1日現在の人口は、平成22年国勢調査確定値に基づき算出しています。



3

【福島県の周産期医療状況】

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
分娩数	18,025	18,005	14,925	14,685
産婦人科医師数	206	199	196	190
分娩取扱医師数	108	106	104	99

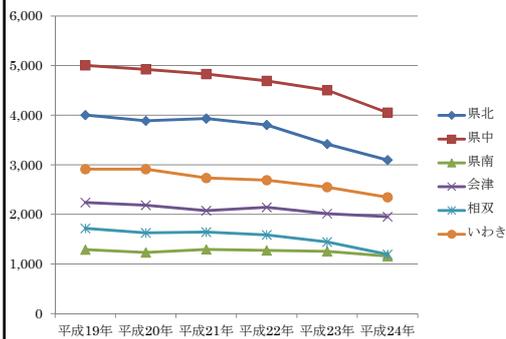
4

福島県の地区別出生数と対前年比(住民票による推移)

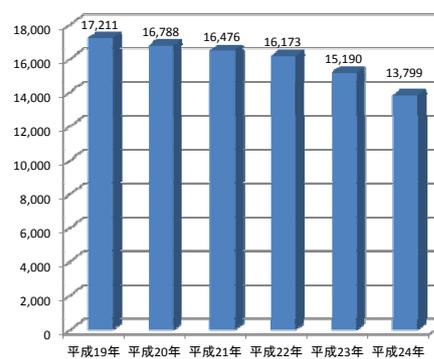
	平成19年	平成20年	前年比	平成21年	前年比	平成22年	前年比	平成23年	前年比	平成24年	前年比	対22年比
県北	4,002	3,886	97.10 %	3,933	101.21 %	3,804	96.72	3,419	89.88 %	3,097	90.58 %	81.41 %
県中	5,005	4,925	98.40 %	4,831	98.09 %	4,691	97.10	4,506	96.06 %	4,053	89.95 %	86.39 %
県南	1,289	1,233	95.65 %	1,295	105.03 %	1,275	98.46	1,255	98.43 %	1,157	92.19 %	90.75 %
会津	2,240	2,185	97.54 %	2,075	94.97 %	2,143	103.28	2,016	94.07 %	1,952	96.83 %	91.09 %
相双	1,719	1,627	94.60 %	1,643	100.98 %	1,587	96.59	1,444	90.98 %	1,194	82.68 %	75.24 %
いわき	2,912	2,912	98.60 %	2,734	96.40 %	2,690	98.40	2,550	94.80 %	2,346	92.00 %	87.21 %
福島県合計(A)	17,211	16,788	97.54 %	16,476	98.14 %	16,173	98.16	15,190	93.92 %	13,799	90.84 %	85.32 %

福島県の出生数の推移(住民票による)

福島県の地区別出生数の推移



福島県合計出生数の推移



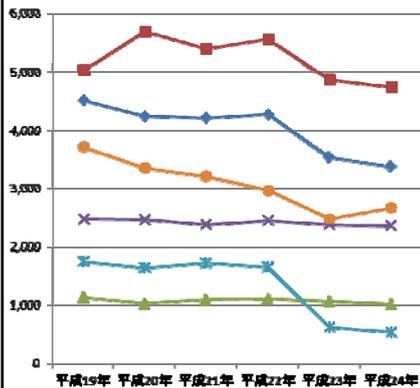
福島県内医療機関での地区別分娩数の推移

	平成19年	平成20年	前年比	平成21年	前年比	平成22年	前年比	平成23年	前年比	平成24年	前年比	対22年比
県北	4,517	4,251	94.11 %	4,224	99.37 %	4,282	101.38 %	3,537	82.60 %	3,371	95.31 %	78.72 %
県中	5,034	5,693	112.89 %	5,404	94.92 %	5,562	102.92 %	4,865	87.47 %	4,747	97.57 %	85.35 %
県南	1,133	1,024	90.38 %	1,093	106.74 %	1,105	101.10 %	1,061	96.02 %	1,018	95.95 %	92.13 %
会津	2,468	2,458	99.59 %	2,374	96.58 %	2,442	102.86 %	2,377	97.34 %	2,355	99.07 %	96.44 %
相双	1,755	1,644	93.68 %	1,726	104.99 %	1,654	95.83 %	617	37.30 %	534	86.55 %	32.29 %
いわき	3,720	3,351	90.08 %	3,204	95.61 %	2,960	92.38 %	2,468	83.38 %	2,660	107.78 %	89.86 %
福島県合計 (B)	18,627	18,421	98.89 %	18,025	97.85 %	18,005	99.89 %	14,925	82.89 %	14,685	98.39 %	81.56 %
(B)-(A)	1,416	1,633		1,549		1,832		-265		886		

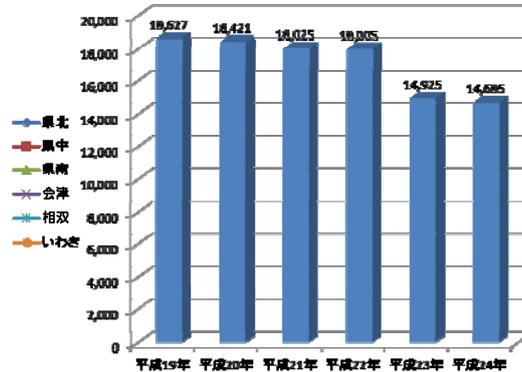
(A)=住民票ベースの福島県合計出生数(4ページ)
 (B)=福島県内での合計分娩数

福島県内医療機関での分娩数の推移

地区別分娩数の推移



福島県合計分娩数



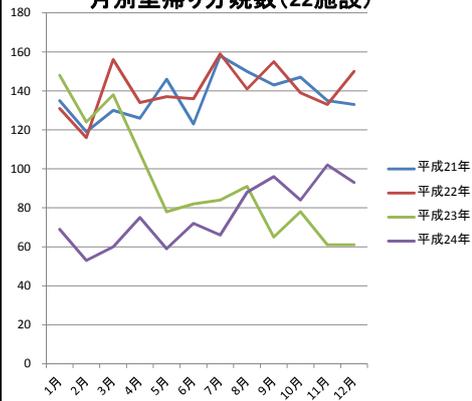
里帰り分娩数の推移(県内22施設)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	対 全分娩数比 (%)
平成21年	135	119	130	126	146	123	158	150	143	147	135	133	1,645	18.09%
平成22年	131	116	156	134	137	136	159	141	155	139	133	150	1,687	18.28%
平成23年	148	124	138	108	78	82	84	91	65	78	61	61	1,118	14.28%
平成24年	69	53	60	75	59	72	66	88	96	84	102	93	917	12.34%

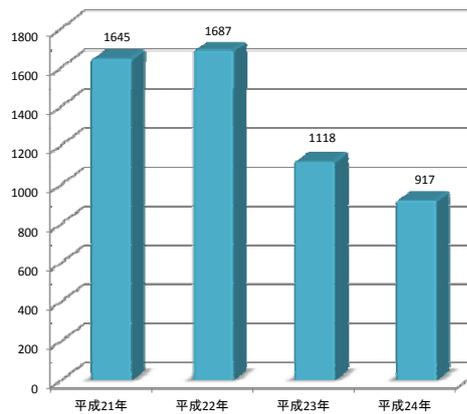
9

福島県里帰り分娩数の推移(22施設)

月別里帰り分娩数(22施設)



合計里帰り分娩数(22施設)



10

【新聞記事】

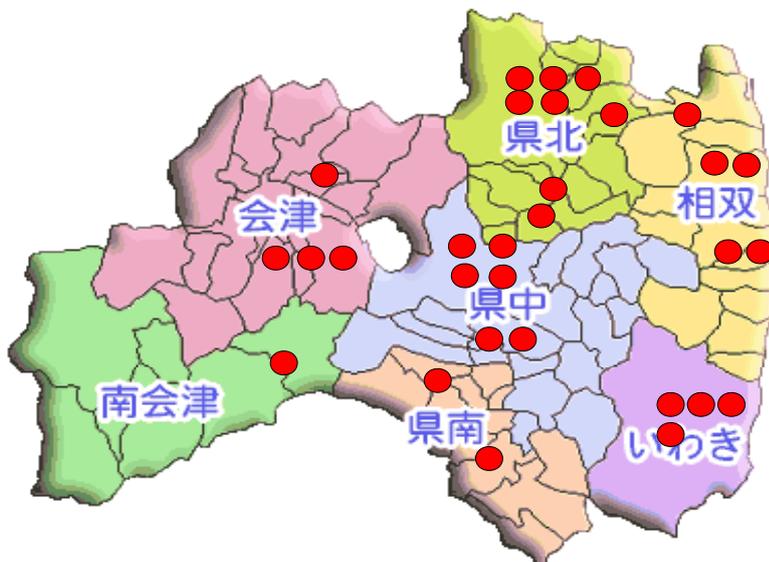
福島民友 2013/5/26

県人口3年ぶり増加

県外避難者戻る動き

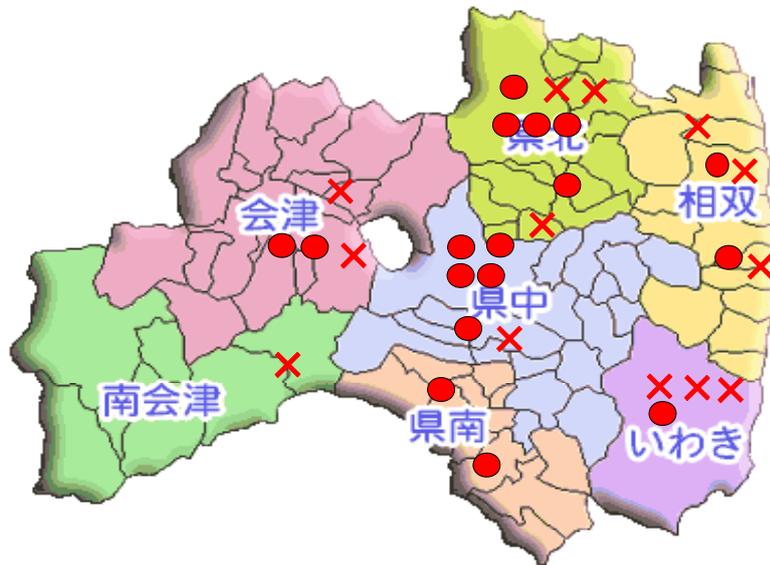
11

2004年の卒後臨床研修制度開始前の
福島県の周産期医療施設(病院)



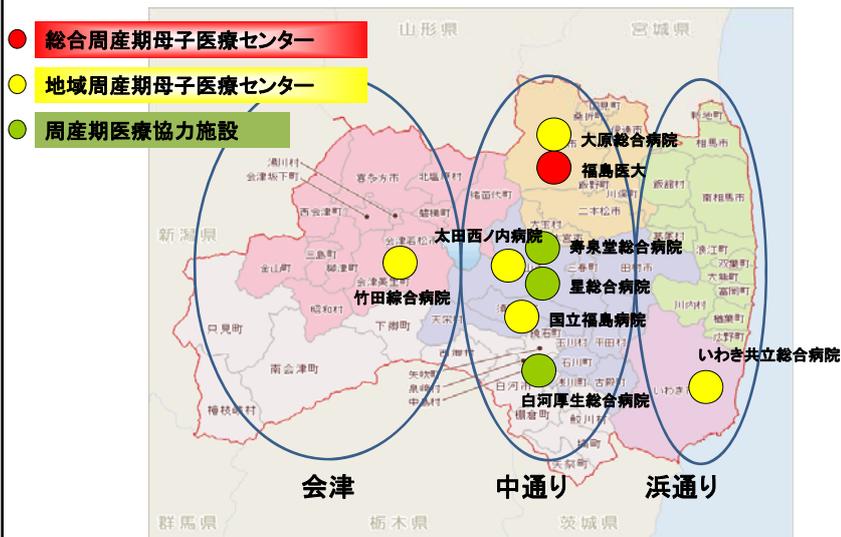
12

閉鎖された福島県の周産期医療施設(病院、2007年)



13

福島県の周産期医療病院



14

医師不足・集約化による産科施設数の変遷

	研修制度前	2007年(減少率)	2013年
岩手県	21施設	13施設(-38.1%)	11施設
宮城県	25	19(-24.0%)	15施設
福島県	30	17(-43.3%)	13施設

医師研修制度： 2004年4月から
県立大野病院事件：2006年2月に逮捕、2008年8月20日無罪判決

15

福島県内の産婦人科医の現状

- 福島県内の産婦人科医は全国平均の8.4人(対人口10万人：平成22年)に対して、6.3人(全国順位46位)と少なかった。
- 震災後、福島県立医大への入局者は数名はいるが、放射線影響を心配した家族の離散のため、時間が経過とともに、多くの産婦人科医が福島県を離れた。
- 震災後から平成25年3月31日まで、福島県から他県に移動された方は13名(29～63歳、男性9名、女性4名)で、すべて産婦人科医として勤務されていた方々である。
- 震災後の平成23年4月の福島県立医大産婦人科への入局者は3名、平成24年は2名、今年・平成25年は1名である。

16

今後の課題

1 放射線風評被害の払拭

- ① 放射線に対する正しい知識
- ② 除染
- ③ 報道
- ④ 安全性の体験

2 産み育てやすい福島県とする

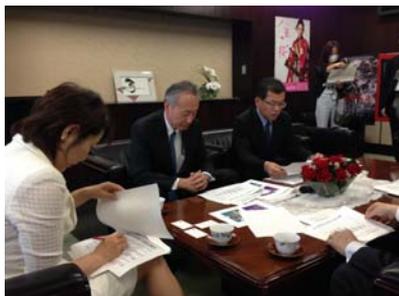
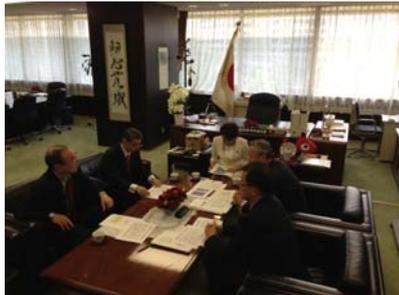
子育て特区とする(保育料・入園料の無料化)

3 周産期医療体制の整備・充実

- ① 日本産婦人科学会からの応援医師派遣事業
- ② 更なる集約化

17

平成25年5月22日



【新聞記事】

福島民友

2013/5/23

産科医を応援派遣

学会が県内4病院に

18

<p>福島公開シンポジウム 「未来に向けて、福島で産み育てる一福島の産婦人科医療の現状と課題」</p> <p>日時：平成25年6月2日（日）13時～ 場所：郡山ビューホテルアネックス</p> <p>座長・進行 福島県産婦人科医会会長 榎 研一 福島県立医科大学医学部産科婦人科学教授 藤森敬也</p> <p>来賓挨拶 女性活力・子育て支援担当 内閣府特命担当大臣 森 まさ子様 福島県保健福祉部長 菅野 裕之様 福島県医師会会長 高谷 雄三様</p> <p>基調講演 「少子化を考える」 日本産科婦人科学会前理事長 吉村泰典先生 「福島県分娩数の推移—福島県産婦人科医会のデータから」 福島県産婦人科医会会長 榎 研一 「福島県内の産婦人科診療の現状」 福島県立医科大学産科婦人科学講座教授 藤森 敬也</p> <p>シンポジウム 1. 「彩の国」から「うつくしま」へ～寄り添って見せる福島の未来 福島県立医科大学医学部産科婦人科学講座助手 河村 真先生 2. いわきを中心とした地域の産婦人科医療の現状と未来への提案 いわき市立総合医療センター産科部長 本多つよし先生 3. 郡山地区における産婦人科の現状と未来 太田総合病院附属太田西ノ内病院産婦人科部長 田中 幹夫先生 4. 安心して子供を産める会津地区の環境と少子化対策 会津中央病院院長 武市 和之先生 5. 県南地区の産婦人科の現状 白河厚生総合病院副院長兼産婦人科部長 山内 隆治先生</p> <p>ディスカッション</p>		19
--	--	----

<p>【新聞記事】 河北新報 2013/4/14 福島里帰り出産 回復傾向 放射能の不安軽減一因か</p>	<p>【新聞記事】 福島民友 2013/5/26 県人口3年ぶり増加 県外避難者戻る動き</p>	20
--	---	----

福島県産婦人科医会・福島県産科婦人科学会

福島のママ・パパを応援する集い

一昨年3月の東日本大震災に際し、全国の産婦人科医から多くの義捐金が寄せられました。その大切な義捐金を使って、福島県で出産・育児にあたるママ・パパが子どもたちを元気にするため、この集いを企画いたしました。日頃の疲れを癒し、元気に子育てが出来るよう、奮ってご参加ください。

参加無料

遊戯場、授乳室を設置

9/23 (日) 午後25時 14:00～(受付13:30～)

会場 ボラリス保健看護学院 (郡山市向河原町159番1号)

対象 福島県内の子育てをしている母親及び妊婦(定員320名)、子供とその家族
・一般市民

講演 (14:15～14:55)
 座長：福島県産婦人科医会会長 藤 野 一
 「○○(仮題)」 (講演30分、質疑応答10分)
 講師：福島医大産科婦人科学講座教授 藤 野 敏也 先生

コンサート (15:10～15:55)
 Le Velvet コンサート

お問い合わせ
 〒980-0801 郡山市向河原町159番1号
 ボラリス保健看護学院
 TEL 024-522-5191
 FAX 024-521-0150
 E-Mail foug@med-csl.com

平塚25年 9/22
いわき市 文化センター

◆主催 福島県産婦人科医会、福島県産科婦人科学会 ◆共催 公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人福島県立医科大学

21

東北六魂祭を福島市で開催

2日間で想定を上回る25万人の来場者

【新聞記事】

福島民友 2013/6/3

絆強め閉幕

東北六魂祭

22